

## 故 名 誉 員 佐 伯 利 吉 氏 を し の ん で



土木学会 名誉員 佐伯利吉氏は昭和38年6月29日、御夫人や嗣子その他にみまもられて、75才をもって永眠されました。ここに哀悼の情を禁ずることができません。

佐伯氏は明治21年、愛媛県に生れ、県立西条中学から第1高等学校を経て、大正2年、東京帝国大学工科大学土木工学科をご卒業のうえ、第七高等学校造士館教授、海軍省技師を歴任され、大正11年12月、北海道帝国大学附属土木専門部教授に聘せられて渡道以来、昭和33年、室蘭工業大学教授を退職されるまで、35年の間終始一貫学生の教育指導と研究に専念されました。その間に

昭和23年には土木専門部長に補せられ、戦後困窮をきわめた時期に運営の衝にあたって多くの功績を残され、また国立学校設置法によって室蘭工業大学が誕生し、土木専門部はその包括学校になるとともに同大学教授に迎えられ、図書館長にも選ばれて大学火災後の困難な復興事業と整備拡充に力をつくされました。この長い年月にわたる氏の功績に対し、御退職の後に室蘭工業大学より同大学として最初の名誉教授の称号を授与されました。

佐伯氏はまた、昭和20年度には土木学会北海道支部長に選ばれて斯界の発展のためにつくされ、今年5月には土木学会名誉員に推挙されました。

また室蘭工業大学教授を辞された後も、請われて不二建設株式会社社長に就任されて北海道開発につくされ、さらに学校法人北海道学園大学教授として短期大学部の土木科創設に参画されて実現されたほか、北海道自動車短期大学教授をも兼ねてその内容充実に努められるなど、各方面にわたってご活躍中のところ、昨年9月末に脳溢血を発病されて御療養中、にわかに肺炎を併発して長逝されましたことは惜しみてもあまりあるところであります。

佐伯氏は敬けんなカトリック信者で、その人柄は誠実の一語につきると思います。寡黙にして事を苟しくもせず、身をもって範を示されました。ここに在りし日の氏の温容を偲びつつ謹んで御冥福をお祈り申しあげます。

(土木学会北海道支部長 上戸 斌 司・記)